



グローバルスケールを目指す 若手起業家向けコース

| 若手起業家コース | Young Entrepreneurs Course |

募集要項

応募締め切り：2025年6月20日(金) 17:00 (JST)



INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

グローバルスケールで活躍いただくために必要なスキル習得と、シリコンバレーのエコシステムキープレイヤーらとのネットワーク獲得を目指す

- 1 海外著名大学でのビジネスの拡大方法等の学習
- 2 海外スタートアップのマインドセットの理解
- 3 シリコンバレーのエコシステムの中でのネットワーク形成

募集対象

対象者	・若手起業家（学生も含む） ・日本在住のスタートアップ創業者 ・シード調達前後	※2025年7月時点で18歳以上
ステージ	主にシード・アーリー	
分野	指定なし	
その他	プロトタイプを有すること、登記済みであること等	

*渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



1 国内プログラム



事前レクチャー (20名程度)

現地での講義理解を深めるため、事前にLean Startup手法などについての事前レクチャーを実施

2 渡航プログラム



UCバークレーによる講義・演習、 関係者訪問 (20名程度*)

UCバークレー教授陣からの講義・演習、ピッチイベントへの参加、シリコンバレースタートアップエコシステム関係者訪問

*対象：国内プログラムでの審査通過者
(渡航プログラムに向けた適正選考あり)

3 フォローアップ



メンタリング (20名程度**)

プログラム参加後の成果フォローアップ、メンターからのアドバイスの提供

**対象：渡航プログラム参加者

1 国内プログラム | 事前レクチャー

UC Berkeleyメンター陣による分析・顧客発掘に関するインタビュー手法講習の事前レクチャーの提供

定員 20名程度

日程 日程詳細は国内プログラム参加者決定後に別途通知いたします

概要

- セッション1： 7月1日（火）～7月11日（金）のうち、2日（1時間程度）を想定
 - ウェルカムセッションやメンターとの顔合わせを実施（Zoomにてオンライン開催）
- セッション2： 7月15日（火）～7月18日（金）のうち、1日（1時間程度）を想定
 - リーンスタートアップコンセプト理解のためのセッションやワークショップを実施（Zoomにてオンライン開催）
- セッション3： 7月22日（火）～7月25日（金）のうち、1日（1時間程度）を想定
 - リーンスタートアップコンセプト理解のためのセッションやワークショップを実施（Zoomにてオンライン開催）
- 決起会： 7月28日（月）～7月31日（木）のうち、1日（午後）を想定
 - （原則対面にて開催）

※ 使用言語：英語

※ 国内プログラムへの参加姿勢等を踏まえて、渡航プログラムへの参加可否を判断させていただく場合があります。

※ プログラムの内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

2

渡航プログラム | UCバークレーによる講義・演習、関係者訪問

UCバークレーの多様な教授陣やメンターとともに、新しい市場機会やビジネスモデルの特定、創造する方法を学習するとともに、シリコンバレー現地のスタートアップエコシステム関係者を訪問する3週間の渡航プログラムを提供

定員 20名程度

日程 8月2日（土）～8月23日（土）

※8月1日(金)日本発、8月25日(月)日本着を予定しておりますが変更の可能性がございます。あらかじめ前後の日程の確保をお願いいたします。

概要

- UCバークレー教授陣による講義を踏まえたシリコンバレーエコシステムの理解促進
 - リーン・スタートアップ実践、デザイン思考の方法論、リーダーシップ、ビジネスの拡大方法等の講義、ディスカッション・演習や、最終日にはピッチイベントを開催し、参加者のスキルアップ向上を支援します
- 企業、ベンチャーキャピタル、その他シリコンバレーのエコシステムのキーパーソンへの訪問
 - シリコンバレー周辺の起業家やVC、企業、UCバークレー在学中の起業家志望の学生等への訪問・面談機会を提供します

3 フォローアップ | メンタリング

渡航プログラム参加後の各参加者の進捗状況に応じて、メンターによるフォローアップを実施

定員 20名程度（渡航プログラム参加者）

日程 2024年9月～12月のうち、3時間

概要

- ・ グループセッション（1時間）※9月中の実施を予定
 - 渡航プログラム参加者全員とUCバークレーメンターによるディスカッション、フォローアップを提供
- ・ 個別セッション（1時間 x2回）※9月および12月に実施を予定、個別に調整
 - 参加者個別にUCバークレーメンターによるプログラム参加後の進捗の確認・ネクストアクションへのアドバイス、フォローアップを提供



Rhonda Shrader (米国/サンフランシスコ)
UC Berkley Haasビジネススクール
「起業家プログラム」Executive Director



Clark Kellogg (米国/サンフランシスコ)
UC Berkley Haasビジネススクール講師

全米科学財団I-Corpsベイエリアのエグゼクティブ・ディレクター兼リード・インストラクター、NSF I-Corpsのナショナル・インストラクターを兼任しており、カリフォルニア大学バークレー校Haasビジネススクールでは起業家教育プログラムを担当。起業家としては、マサチューセッツ工科大学(MIT)からスピンアウトしたOrganogenesis社の初期チームメンバーとして活躍。また、バイオテクノロジー、行動医療、非営利団体、小売業、AIなどの新興企業を設立または初期段階のチームメンバーとして活躍。NASAのスピノフ企業であるBrainAidのアドバイザーとして活躍し、Health Tech Forum CodeathonとSan Francisco MedHack 2.0 Hackathonの両方で優勝チームを率いた経験を有する。

デザイン思考の実践において、創造性への尽きることのない情熱を有し、現在はHaasビジネススクールにてクリエイティビティ、デザイン思考、応用イノベーションクラスを担当している。建築、プロダクトデザイン、戦略立案などの業務に関する30年以上の経験する他、Berkeley Innovation Groupの共同設立者として、北米、中南米、アジア、ヨーロッパの企業、非営利団体、政府、大学とのコンサルティング案件を主導。カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部卒。



Chris Bush (米国/サンフランシスコ)
UC Berkley Haasビジネススクール講師



Jon Metzler (米国/サンフランシスコ)
UC Berkley Haasビジネススクール講師

カリフォルニア大学バークレー校Haasビジネススクール「Business Innovation Institute (IBI)」エグゼクティブ・ディレクター。また、全米NSF I-Corpsの産業メンターであり、ベイエリア・ノードのインストラクターでもある。以前は、教育テクノロジー新興企業であるMonarch MediaのCEO兼CFOを5年間務め、2016年末に同社を売却。それ以前は、シリコンバレーのSaba SoftwareとSybaseでデジタル・マーケティング・チームを率いていたほか、テクニカル・プロジェクト・マネージャー、コンサルタント、ビジネス・ジャーナリストとしてキャリアを積んできた。カリフォルニア大学デービス校経営大学院でMBA、ウィスコンシン大学で理学士を取得。

カリフォルニア大学バークレー校Haasビジネススクール教授。専門は、競争戦略、ネットワーク経済の戦略、日本でのビジネスを含む国際ビジネス、機会認識、クラスター等。また、カリフォルニア大学バークレー校日本研究センターの教授も務める。現職以前は、コンサルティング会社を設立し、大手企業のイノベーション活用支援や日米両国での新規事業立ち上げの経験も有する。加えて、UC BerkleyのアクセラレーターであるBerkeley SkyDeckの教授メンターも兼任。カリフォルニア大学バークレー校でMBA/MA-アジア研究を修了し、シリコンバレーと日本のイノベーション・エコシステムと新規事業形成を比較する論文を発表。北カリフォルニア日本協会の理事、前理事長。



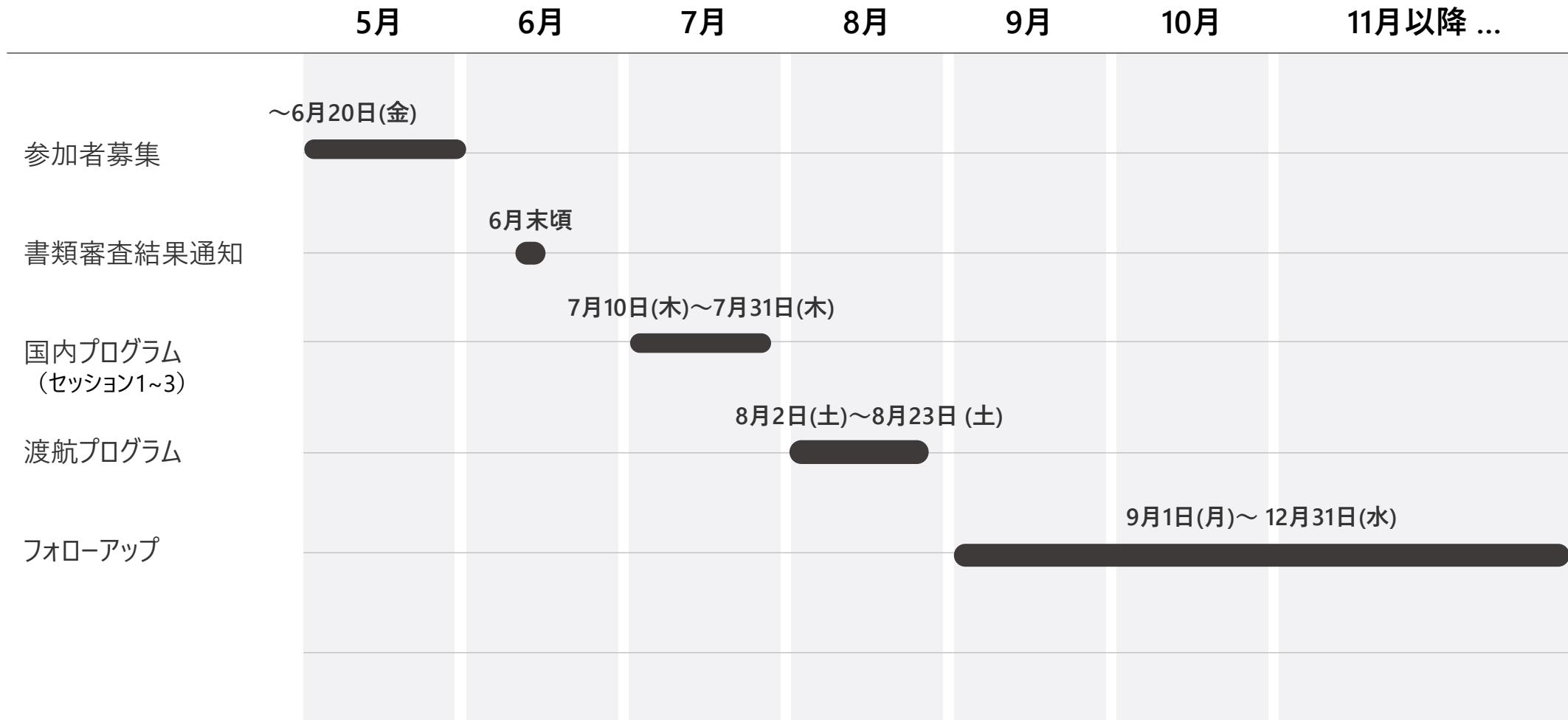
Institute for Business Innovation University of California, Berkeley

URL: <https://haas.berkeley.edu/ibi/>

支援機関情報

UCバークレーのInstitute of Business Innovation (IBI) は、革新と起業家精神を促進するために設立された研究機関です。IBIは、学術研究、産業との連携、教育プログラムを通じて、ビジネスリーダーシップ、技術革新、新規事業の創出に関する幅広いリソースを提供し、学生・研究者・起業家が新しいビジネスアイデアを実現するための支援を行っています。また、IBIはシリコンバレーを中心としたエコシステムと密接に連携して、最新のビジネストレンドや技術革新に対応しています。

03 SCHEDULE | スケジュール



定員

- ・ 国内プログラム：20名程度
- ・ 渡航プログラム：20名程度

対象企業

対象者	・若手起業家（学生も含む） ・日本在住のスタートアップ創業者 ・シード調達前後 ※2025年7月時点で18歳以上
ステージ	主にシード・アーリー
分野	指定なし
その他	プロトタイプを有すること、登記済みであること

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

1. シード・アーリーステージスタートアップの創業者であること
2. 本プログラム全日程に参加可能であること
3. 英語での講義の受講、ピッチイベント参加が可能な語学力を有していること
4. オンラインで参加するための設備、環境を準備できること
5. 参加後のアンケート等に協力いただけること*

*本プログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり隨時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

参加者による費用負担

- ・ 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- ・ その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- ・ プログラム受講料
- ・ （対面開催の場合のみ）国内プログラム及びフォローアップ時の国内交通費・宿泊費
- ・ 海外航空券
- ・ 海外滞在時の宿泊費

(成田/羽田空港までの航空券または新幹線が必要な地域にお住まいの方はJETROが費用負担、手配いたします。現住所を確認し別途ご連絡いたします。)

※上述は全てジェトロにて手配し支給いたします。参加者に上記費用をお支払いする主旨ではありません。



選考基準

- ・ 招聘するメンターならびにJETROがサポート可能であること
- ・ 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- ・ 製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- ・ バリュープロポジションが明確であること
- ・ ビジネスマodelの収益性が高く、持続的な成長が見込めるこ
- ・ 市場需要を証明するトラクションがあること
- ・ 海外展開に適したチーム構成であること
- ・ 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向け(レベルが高い、ミドルステージ向け等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。

重複の可否はJETROにて判断いたします。

応募フォーム

2025年6月20日(金) 17:00 (JST) 締切

- ・ いただきました内容について、審査を行い、採択可否の通知をさせていただきます。
- ・ JETROによる1次審査（書類）の通過社のみ、UC Berkleyによる個別面談を行います。
- ・ 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。
- ・ 別途、ピッチデック資料（英語）の提出が必要です。
- ・ 誓約書とパスポートの写真が掲載されたページのコピーを提出いただきますのでお手元にご用意ください。詳細は応募フォームに記載されております。

07 APPLY | 応募方法



ピッチデック資料の提出方法・プロセス

Step 1

資料作成

スライド（英語）作成

※原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

Step 2

格納（アップロード）

作成したピッチデック資料を右の記載のリンクからアップロード

■ ピッチデック資料の格納先はこちら

※ 上記リンクへの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください。その場合、メールの件名は「YoungEntrepreneursCourse_企業名_名前」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)

07 APPLY | 応募方法



ピッチデック資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデック資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、10ページ程度でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは10MB以下）
- ファイル名は「YoungEntrepreneursCourse_企業名_名前.pdf」としてください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)
- 2025年6月20日(金) 17:00 (JST) までにご提出ください

■ ピッチデック資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

- 解決したい課題の内容
- プロトタイプ/製品またはサービスの概要
(写真や図、文章を用いて)
- 事業の拡大戦略
- プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は英語でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本事業及び事務局では、本募集要項P.13の「主催者による費用負担」に記載した項目のみ負担しますが、それ以外のすべての費用は一切支給しません。
2. プログラムの参加者に発生した損害などについて、一切の補償を致しかねますのでご了承ください。
3. 必要に応じて現地での交渉先との面談などにもメンターの他JETRO職員が同行をさせていただき、帰国後も成果把握、進捗確認などにご協力をいただきます。
4. 本プログラムに選考通過後はジェトロ事業の紹介、成果報告のため外部公開をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。（内容は事前に確認をさせていただきます。）
5. 原則としてJ-StarX事業は同一年度内で一つのみが参加可能となっております。ご留意ください。

※本コースよりも上級者向け(レベルが高い、ミドルステージ向け等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。
重複の可否はジェトロにて判断いたします。

免責事項

上記詳細及びその他については、[免責事項](#)をよくお読みの上応募をお願いいたします

※学生向けプログラムにおいては 1. (3) に記載の内容について、国内研修やフォローアップがオンライン開催となった場合に会場または会場近辺までの交通費・宿泊費を提供いたします。

キャンセル規定

如何なる理由においても、航空券及び宿泊手配後の変更・キャンセルは認められません。キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます。本コースでは**6月23日（月）23:59**まで辞退連絡を受け付けますが、それ以降は航空券等のキャンセル代を請求いたします。

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 若手起業家コース

会社名 JETRO イノベーション部 スタートアップ課

担当者 蟹江

メール J-starx@jetro.go.jp

